

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100722
事業所名	グループホーム安城福釜の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	コロナ禍となり、地域との交流自体は激減していますが、町内会は体制を変えずに年間の事業一覧を届けてくださり、管理者も地域清掃には欠かさず加わっています。清掃では「どうですか？（大丈夫?）」と事業所の状況を心配くださったり、また行事変更などの情報が共有でき事業所でも助かっています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は安城市高齢福祉課、地域包括支援センター、町内会長、民生委員をメンバーとして隔月開催が励行されてきましたが、コロナ対策として書面開催となっています。2ヶ月の活動内容を議事録としてまとめてメンバーに届けるとともに、開催か否かの連絡の折に意見を求めています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	事業所では生活保護受給者の受け入れを上限なくおこなっています。安城市からはコロナをはじめ各種情報のeメール配信があり、また地域包括支援センターからも空室の問い合わせを随時もらえ、相互に協力し合っています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	年3回発行の「福釜だより」を通じて家族には本人の生活の様子や事業所の取組みを知ってもらっています。窓越しに会えなくはないのに家族が遠慮してしまい、感染を心配しない家族以外の面会はほとんどありません。利用者も特段の要望はありませんが、レクリエーションなどのふとした場面に人となりや現在のADLを知ることはできています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								